

令和 5 年度 国 語 科 シラバス

科 目	現代の国語	単位数	2	履修学年・クラス（講座）	1年普通科
使用教科書	「高等学校 現代の国語」（第一学習社）				
補助教材等	「常用漢字ダブルクリア四訂版」「3ステップ基礎現代文」（尚文出版）				

1 学習の到達目標

言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思考力・判断力・表現力】
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【学びに向かう態度・人間性等】

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- 社会生活を円滑に営む上で必要なコミュニケーション力の基となる「言葉」の力を身に付けるための大切な授業です。学習活動それぞれのねらい・目的を意識しながら、積極的に授業へ取り組んでください。
- 予習として必ず本文を通読し、意味のわからない語句は辞書等で調べておきましょう。内容的に疑問を抱いた点については授業内で解決し、授業後はふり返って内容を確認してください。
- 授業では「読む」「書く」活動だけでなく、「話す」「聞く」活動も行います。互いに相手が理解しやすいよう工夫を凝らしつつ自分の考えや思いを伝え合うことで、思考力を鍛え、表現力を磨くことができます。
- 国語力の伸長を図ることは、短期間で効率的にできることではありません。日頃から本や新聞を読み、活字に慣れ親しむことで、語彙力を増やし、表現の幅を広げ、豊かな日本語の力を身に付けるよう心掛けましょう。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	実社会での課題設定及び課題解決につながる国語の知識や技能を身に付けて適切に使っている。	多様な他者と共に高め合い、認め合いながら伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしている。	言葉の価値への認識を深めるとともに、自分の考えを相手にわかりやすく、筋道を立てて伝え、言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとしている。
主な評価方法	・ペーパーテスト（事実的な知識の習得を問う問題及び知識の概念的な理解を問う問題）の結果	・ペーパーテスト ・作成したポートフォリオの内容 ・レポート記述内容 ・グループでの話し合いや発表などの場面での観察	・授業中の発言内容 ・行動観察 ・生徒による自己評価や相互評価の様子及び記述内容

4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
4	文章の構成を正確に押さえよう	「『本当の自分』幻想」(平野啓一郎)	6	・主題に至る論の構造を把握し、主題に説得力を持たせるための論の展開について考える	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している(a) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成について叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している(b)
5	対比関係を踏まえて論旨を読み取ろう	「水の東西」(山崎正和)	7	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している(a) ・文章の論理展開についての的確に捉え、要点を把握している(b)
6	論理分析「対比」「具体と抽象」	「日本語は世界をこのようにとらえる」(小浜逸郎)	7	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確にとらえ、要旨を把握する方法を学ぶ。	・一般的主張は抽象的になりやすく具体的な例が必要になることについて理解している。(a) ・認識や思考を支える言葉の価値について理解を深めようとしている(c)
7 8	情報を整理して相手にわかりやすく伝えよう	「法律の改正に関わる文章を読み比べる」	7	・改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる	・実社会において表現するために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の用法を理解し、話の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている(a) ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え、表現の仕方を工夫している(b) ・複数の文章から読み取った情報をまとめて、聞き手が理解しやすいように伝えようとしている(c)
9	抽象的な概念を具体化してわかりやすく説明しよう	「『文化』としての科学」(池内了)	7	・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。(a) ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている(b) ・文章から筆者の主張を読み取り、その主張に対する自分の考えをまとめ、表現を工夫して説明しようとしている(c)
10	合意形成可能な話し合いをしよう	「現代の『世論操作』」(林香里)	7	・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ	・話し言葉の特徴を踏まえ、敬意と親しさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。(a) ・情報の信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている(a) ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら話し合いの目的や状況に応じて、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している(b)

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
11	論理分析 「事実と意見」「推論」	「AIは哲学で きるか」 (森岡正博)	8	・推論とは、ある事実を前提として一つの結論を導き出すことをいい、論理的に考える際に特に重要となる思考方法である。代表的なものに、演繹法と帰納法がある。	・論理的に考える際「推論」が重要な思考方法であることについて理解している(a) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成について叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している(b)
12	論理構成を 的確に捉え よう	「ものごと くば」(鈴木孝 夫)	7	・具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の意味を理解する・	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。(a) ・認識や思考を支える言葉の価値について理解を深めようとしている(c)
1	論理分析 「主張と根 拠」	「デザインの 本意」(原研哉)	6	・「論理的である」ということは、「根拠に基づいた主張がされている」と言い換えることができる。相手を説得したり納得させたりするためには、適切な根拠によって主張が支えられていることが必要である。	・論理的な主張は妥当な根拠に支えられていることについて理解している。(a) ・認識や思考を支える言葉の価値について理解を深めようとしている(c)
2 3	情報を整理 して相手に わかりやす く伝えよう	「学校新聞の 記事内容を検 討する」	8	・与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り活用する	・実社会において表現するために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の用法を理解し、話の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている(a) ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え、表現の仕方を工夫している(b) ・複数の文章から読み取った情報をまとめて、聞き手が理解しやすいように伝えようとしている(c)